

2015年度 図書館の動き

●授業連携強化・ワークショップ開催

授業支援・連携を積極的に実施した。政治経済学科は教員と館員による授業プログラムを同年展開、欧米文化学科はPOP作成などのワークショップ、日本文化学科はPPT作成体験や全国大学ビブリオバトル予選会開催などである。

●「桶川honプラス+」イベント開催

2月13日、新たにできたイベントスペース桶川honプラス+にて、聖学院大学のイベント企画としてビブリオバトルとハンドベルクワイアのミニコンサートを開催した。

●高校生向け 夏の図書館開放

夏休み期間（8/5～9/12）、本学の図書館を高校生に向けて開放する試みが、初めて行われた。

●全国大学ビブリオバトル本戦出場

詳細については左記参照。

●図書館サポーター「セラエノ」活動開始

名称が「セラエノ」に決まり、5月より正式に活動を開始した。新たなメンバーも加わり、少しずつではあるが、活動を展開している。

●和雑誌見直し実施

和雑誌の購読・寄贈の見直しを実施し、停止55件、Web切替38件、新規10件とした。

●書架狭隘化の深刻化

書架狭隘化が深刻化してきている。早急の対策が必要であるが、対策が思うように打てていない状況である。

●第6・7回学生選書

春と秋と2回の学生選書を行った。会場は春が紀伊國屋書店（新都心）、秋は丸善（桶川）で、のべ15名の学生が参加した。

●古書募金

退職される先生方から不要となった書籍の寄付をいただき、Webで販売した成果を大学へ還元する「古書募金」が、聖学院ゼネラルサービスの協力を得て開始した。

●図書館システム見直し検討開始

保守期間終了を受けて、図書館システムの見直しを開始した。2候補まで絞り、今後、検討を重ね、2017年春の稼働を目指すこととなる。